

第 5 回 S S H 国際交流講演会 “ My Journey of Cultural Discovery”

令和 6 年 11 月 27 日 (水) 16:00~17:30 に、5 階多目的教室 CD で第 5 回 S S H 国際交流講演会が実施され、1 年生 1 名、2 年生 41 名が参加しました。今年度 5 回目の講演会の講師は、東北大学工学部電気情報物理工学科 2 年生 Ng. Yan. Yi (ウン・ヤンイー) さんで、タイトルは “My Journey of Cultural Discovery in Japan” でした。

今回の講演内容は、主に Yan. Yi さんが日本に来て感じたこと、マレーシアと日本の違いについてで、私たちが今まで知らなかった外から見た日本・近隣国であるミャンマーについてより詳しく知る良い機会になりました。私たちは学校の授業などで東南アジアの国々はイスラム教をメインに信仰していると学習しましたが、マレーシアは意外にも多宗教・多民族国家で宗教は主に仏教・ヒンディー教・イスラム教など、民族も主に中華系・インド系・マレー系の民族で構成されていることを知りました。また、その共通言語も、英語、マレー語、広東語、タミル語と多言語が使用されている国です。他にも、マレーシアの高校生は生物・物理・化学の 3 つが必修のため大変であること、放課後の部活がないこと、マレーシアの歴史や古い寺院などの建築物、固有の動植物などについて知ることができました。また、ミャンマーのことだけでなく、海外の人から見た日本の魅力や日本の良さを改めて実感することができる有意義な講演でした。



ヤンイーさんへの質問【Q & A】

Q 「なぜ東北大学を選んだのか？」

A 「都会過ぎず、田舎過ぎず、その中で最もよかったのが仙台だったから。」

【参加者の感想】

言語を学ぶ過程を旅になぞらえて話していたのがとても分かりやすかった。日本とマレーシアの相違点がよく分かった。異なる文化の人から見た日本の印象を聞くことができ面白かったです。他の文化についてももっと学びたいと思いました。(2年)

マレーシアの文化、歴史について知ることができた。複数の民族が共存しているからこそその文化だと分かった。海外のことにも目を向けて、知識を増やしていきたい(2年)

マレーシアは日本と違う文化がたくさんあって、特に教育の面ではいろいろ違うところがあって驚いた。マレーシアに住む人の多くはマレーシア人、中国人、インド人で宗教や言語も異なる人がいることを知って、歴史を学んで実際に観光スポットに訪れたいと思った。(2年)

お米の構造について細胞レベル、遺伝子レベルで知ることができ、気温の影響をととても受けやすいということがとても驚きでした。理系の生物の知識も必要だったので習ってない私たちにとって難しいところもありましたが、とても新鮮でした。(2年)

今回の講演では、国際的な視点を育むことができた。日本から出たことがない私にとって、日本の景色や文化が最もシンプルで、整っていると感じた。しかし、日本とマレーシアの比較の写真をみていて、日本の文化は不思議だなと感じることが多く、マレーシア文化にも興味が湧いた。(2年)

【編集後記】

英語で行われた講演会を SRtimes にまとめることで、もう一度講演内容についてよく考える機会となり、講演についての理解がより深まりました。このように国際交流は、日本とは一味違った他の国々について学べる良い機会だと改めて実感します。次号の SRtimes も内容をできるだけシンプルに、そしてよりわかりやすく講演の内容をまとめ、講演の様子を共有できるようにしていきます。



ヤンイーさん